

○医療事故等包括公表について

医療の透明性と県民の医療に対する信頼の一層の向上を図るとともに、医療現場における安全確保に資するため、令和5年度に当センターにおける医療事故等の報告状況について、包括的に公表いたします。

・レベル別件数

区分	レベル	内 容	件 数	
			令和5(2023)年度	令和4(2022)年度
ヒヤリ・ハット事例	0	エラー(※1)や医薬品・医療機器の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。	56	76
	1	患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない。)	293	240
	2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサイン(※2)の軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた。)	91	108
	3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)。	70	64
	小 計 (ヒヤリ・ハット事例)(件) ①		510	488
	ヒヤリ・ハット事例の占める割合(%) (①/③×100)		99.2	98.6
医療事故	3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)。	4	7
	4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。	0	0
	4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。	0	0
	5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く。)	0	0
	小 計 (医療事故)(件) ②		4	7
	医療事故の占める割合(%) (②/③×100)		0.8	1.4
合 計(医療事故及びヒヤリ・ハット事例)(件) ③			514	495

※1 ある行為が、行為者自身が意図したものでない場合、規則に照らして望ましくない場合、第三者からみて望ましくない場合、客観的期待水準を満足しない場合などに、その行為を「エラー」という。

※2 血圧、脈拍、呼吸など

・事象別件数

事 象	内 容	件 数	
		令和5(2023)年度	令和4(2022)年度
薬 剤	注射、点滴、内服薬など	131	141
輸 血	血液検査、輸血など	0	0
治療・処置	手術、麻酔、処置など	19	33
医療機器	医療機器など	6	5
ドレーン、チューブ類	チューブ、カテーテルなど	44	44
検 査	採血、撮影など	11	11
療養上の世話	転倒、転落、給食、栄養など	129	98
そ の 他		174	163
計(件)		514	495

((公財)日本医療機能評価機構による分類に準じる)

・代表的事例及び対応策

事 象	代 表 的 事 例	対 応 策
【レベル3b】 療養上の世話 (誤飲)	義歯がないことを本人に確認すると、朝ご飯の時に飲み込んだと話があった。レントゲン撮影し胃部に義歯らしき物を確認。他院の外来を受診し内視鏡で義歯を摘出した。	当該者は、食事を咀嚼しておらず丸のみしている状況であった。義歯使用せずに嚥下評価を実施し、問題なく義歯不要と判断した。
【レベル3a】 療養上の世話 (爪切り)	拒否や暴言があり介入が難しい患者。姉の見守りのもと爪切りを実施したいと声掛けをすると、姉が実施すると申し出あり依頼した。確認に行くと第4指の指先に2～3mmの裂創を生じていた。	介入が難しい患者の場合は、家族の協力を得ながら安全に実施できるよう配慮する。爪切りは基本的に看護師が実施する。